

讀者登壇

温かい心感じた
まちなかの集い

宇都宮市 武田 幸雄

(無職) 77歳

◇「まちなかメディカルカフェin宇都宮」の記念講演会を行つてきた。メディカルカフェの提唱者、順天堂大学部の樋野聰夫教授や講演者の話を聞き、大切な命を抱き締めた。

◇がん患者は発病時、目の前が真っ白になる絶望・不安を経験する。本人や家族、医師や看護師、がん経験者がまちなかに集い悩みを語り合つて、心身のバランスを取り戻す。道を求める病と向き合う姿に人としての尊さも実感する。多発性骨髄腫で入院、現在、通院で抗がん治療中の私

ですが、知り合つたがん友とは同病相哀れむでなく、1×1=10の信念で希望の人生を完結したい。

◇西洋、東洋医学が高い哲學に支えられ、生老病死の

現場に寄り添えたら最高です。体のもみほぐしを指導したスタッフには温かい心と、先駆者の皆さんには感謝しながら疲れも飛んで帰つ